

自然素材のプライベートブランド

Skog  
スコグ

カフェスタイルシリーズ

# Cafe Style Series

Fromageーフロマージュ / Amandeーアマンドー

〈洗面化粧台・手洗い器〉

## 設置・工事説明書

### 目次

安全上のご注意	1
1. 工事を始められる前に	2
2. ワークユニット(下部キャビネット)の取り付け方法	3
3. タイル天板の施工について	3
4. 扉の建付け調整方法	9
5. 棚板の取り付け方法(観音開きタイプを選択の場合)	9

# 安全上のご注意

## 必ずお客様にお渡しください

この設置・工事説明書は、お客様が洗面化粧台を安全に使用していただくために必ず守らなければならない設置・工事上の注意事項を記載しています。設置・工事前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく、安全に据え付けてください。また、工事完了後は、別添の『取扱説明書』『保証書』とともにお客様へ渡していただき、大切に保管していただくよう、説明してください。

ここに示した注意事項は、洗面化粧台・手洗い器を正しく安全に設置工事していただき、設置工事業者および洗面化粧台・手洗い器を使用されるお客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を[警告][注意]の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

### 必ずお守りください

### 安全上のご注意

#### ⚠ 警告

作業を誤った場合に設置工事業者または、設置後の製品の不具合によって使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

#### ⚠ 警告

- 配線工事等は、関連する法令や規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。接続や固定が不完全な場合は、発煙や火災、爆発の原因になり、重大事故につながる場合があります。
- 各設置工事は、建築基準法、各都市の条例、消防法等に従ってください。

#### ⚠ 注意

作業を誤った場合に設置工事業者または、設置後の製品の不具合によって使用者が重傷を負う可能性または、物的損害のみが想定される内容を示しています。

#### ⚠ 注意

- タイルやステンレスの小口(切り口)は危険ですので、絶対に触らないでください。特に、器具開口穴、混合栓用穴、床排水穴、排水金具用穴等にご注意ください。作業の際は必ず手袋を着用し、十分注意して作業をしてください。
- 工事完了後はとびらの傾き、ガタつき、蝶番のゆるみがないことを必ず確認してください。使用中にとびらが落下して、ケガをする恐れがあります。
- 排水パイプ、ホースはU字型に曲げたり、折り曲げて取り付けしないでください。使用中に排水パイプがつまり、水があふれて床を汚す恐れがあります。また、絶対にダブルトラップにならないように、規定の水勾配を設けてください。
- 配水管の接続部は、必ずシールを行ってください。接続部に隙間があると、不快な臭いやカビの発生原因になることがあります。
- 据え付け、仕上げ工事に使われる溶剤、接着剤、洗剤、その他薬品類については容器等の注意表示に従い、正しくお使いください。誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

# ① 工事を始められる前に

1. キャビネットを取り付ける前に、次の事柄を確認してください。
  - a. 両壁にはさまる場合は、クリアーを含めて内法寸法を確認してください。タイル後貼りの場合には両端のタイルの差し込み代等にも考慮してください。
  - b. 建具枠等のちりがある場合は、引き出しや扉の開閉時に当たらないかどうか、確認してください。
2. 壁の下地および材質を確認し、道具類を用意してください。
  - a. 取り付け面はできるだけコンパネ等を貼ってもらってください。
  - b. 木下地or軽量鉄骨+ボード・木質パネルの場合は、太さ4mm以上のタッピングビスを使用してください。
  - c. GLの場合は、前もって下地を入れてもらうか、もしくはハンマードリル、グリップアンカー、寸切ボルト、ワッシャー、袋ナット等を用意してください。

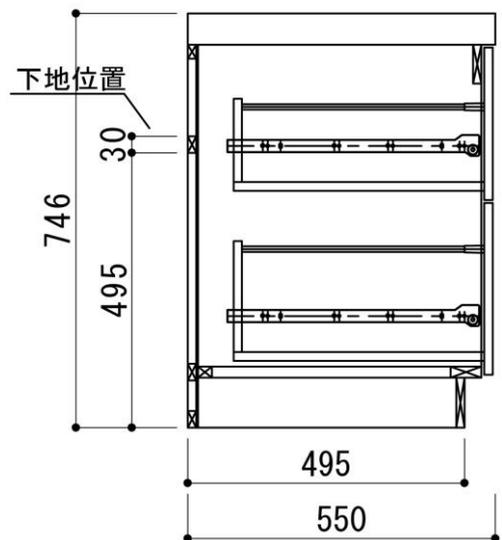
3. フロアーユニット(下部キャビネット)据え付け前に次の事柄を確認してください。

- a. 排水管が所定の位置まで来ていますか。
- b. 配管スペースの所定の位置まで給水、給湯の配管が来ていますか。

4. 天井および床の水平、壁の矩手(直角)が極端に悪い場合はパッキン等であらかじめ調整してください。

下地位置について

(例)フロマージュ(洗面化粧台)W900 の場合  
 ※木下地、ビス、ビスキャップは付属しておりませんので、現場にてご用意ください。



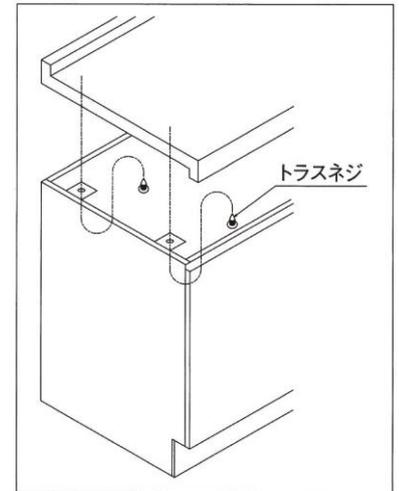
## 部品箱の内容

Fromage -フロマージュ-(洗面化粧台)		
部品名	品番	数量
キャビネット本体	-	1
陶器洗面ボウル	DU-0472560030	1
クロスハンドル混合栓	153-022	1
排水金具 ポップアップユニット	432-414-32	1
排水金具 Sトラップユニット	433-310-32	1
取手	-	W750 の場合:2 W900 の場合:4
タイル	ニッタイ ビッツモザイク	-
目地材	スーパークリーンキッチン	1
工事説明書(本書)	-	1
取扱説明書	-	1

Amande -アマンド-(手洗い器)		
部品名	品番	数量
キャビネット本体	-	1
丸型ボウル	SEB-001(オ-パ-フロ-無)	1
立水栓	722-411-13	1
排水金具 直流タイプ	オーバーフロー無し	1
排水金具 Sトラップユニット	-	1
取手	-	2
タイル	ニッタイ ビッツモザイク	-
目地材	スーパークリーンキッチン	1
工事説明書(本書)	-	1
取扱説明書	-	1

## ②ワークユニット(下部キャビネット)の取り付け方法

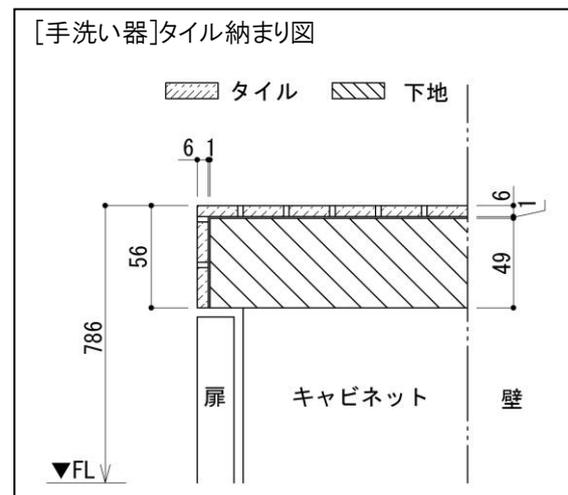
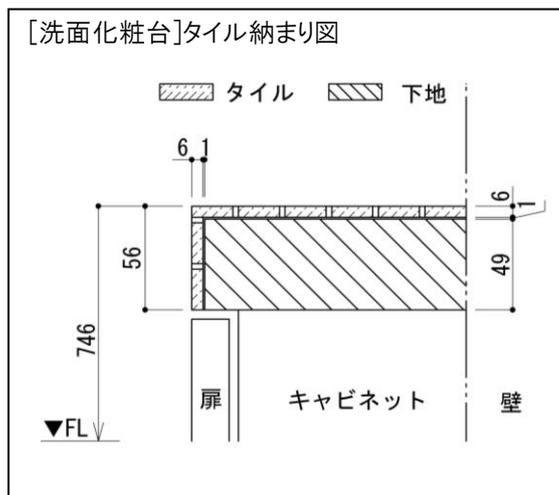
1. フロアーキャビネットを梱包から出し、所定位置に配置します。(引き出しも外してください)
2. 扉を開け、上向きに、下台のL金具の穴に付属のトラスネジを差し込み天板と縫い付けてください。
3. モザイクタイルを施工してください。
4. タイルの施工が終わったら、水栓金具を取り付けます。
5. 下台上部前面とボウル前部当たり(チャンネル部分)を合わせてください。
6. 水栓金具の配管が終わってから、排水金具を取り付けてください。
7. 棚板、引き出し等をセットしてください。
8. 各扉の建付けをスライド蝶番にて調整してください。  
調整方法および取り外し・取り付け方法は、9ページを参照ください。
9. 引き出しの前板の調整方法は、9ページを参照ください。
10. 他の工事が完了するまで、ダンボール等でワークトップ他を養生してください。
11. 全ての工事が完了後、美装の際にワークトップ他の養生をはがしてください。



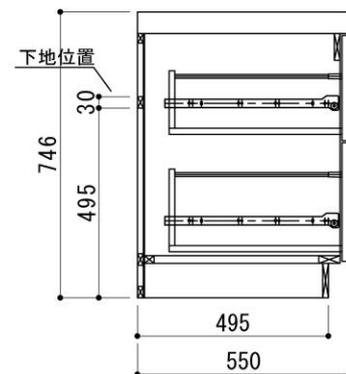
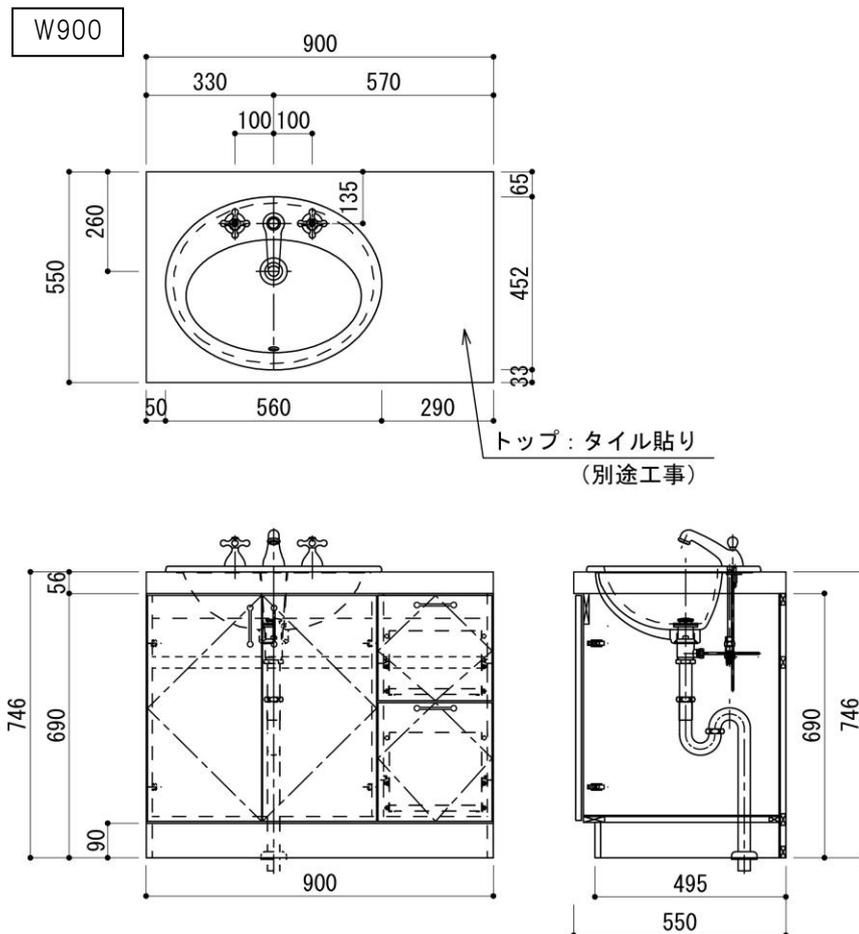
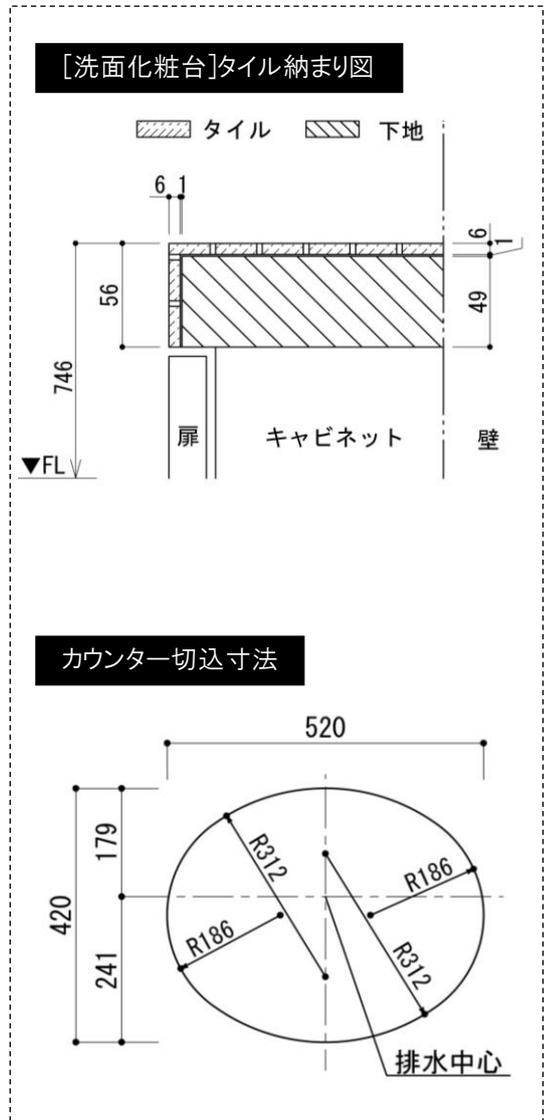
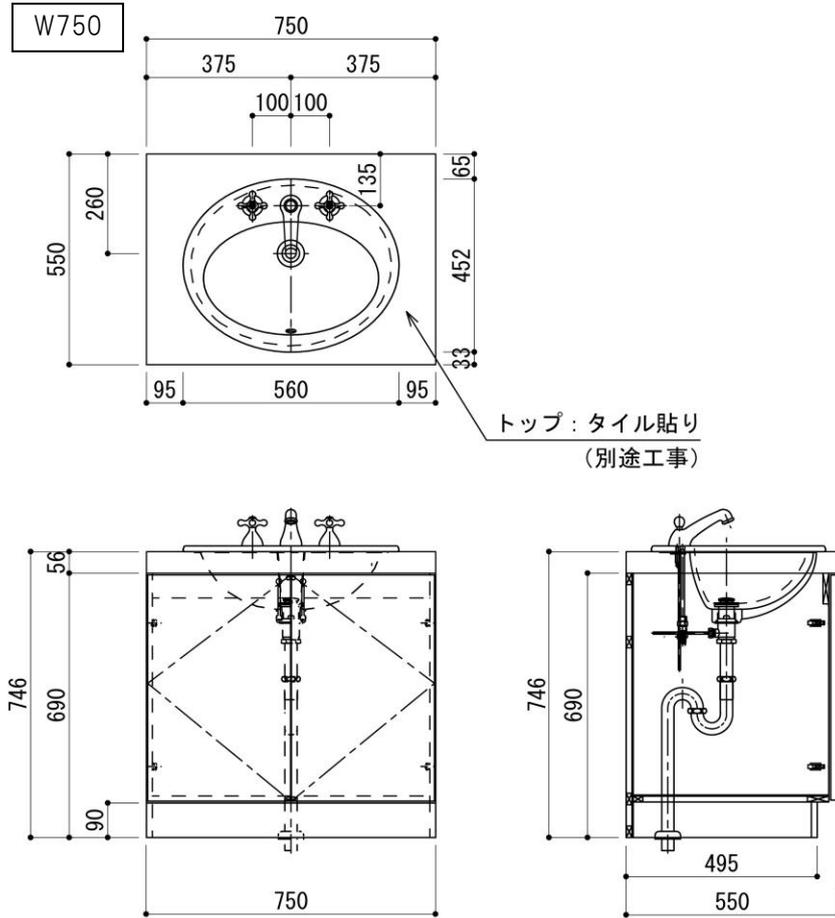
●詳しい図面は、4～8ページをご参照ください。

## ③タイル天板の施工について

ワークトップ合板(防水下地合板)へタイル天板を施工します。  
施工については左官業者様とお打ち合わせの上行ってください。

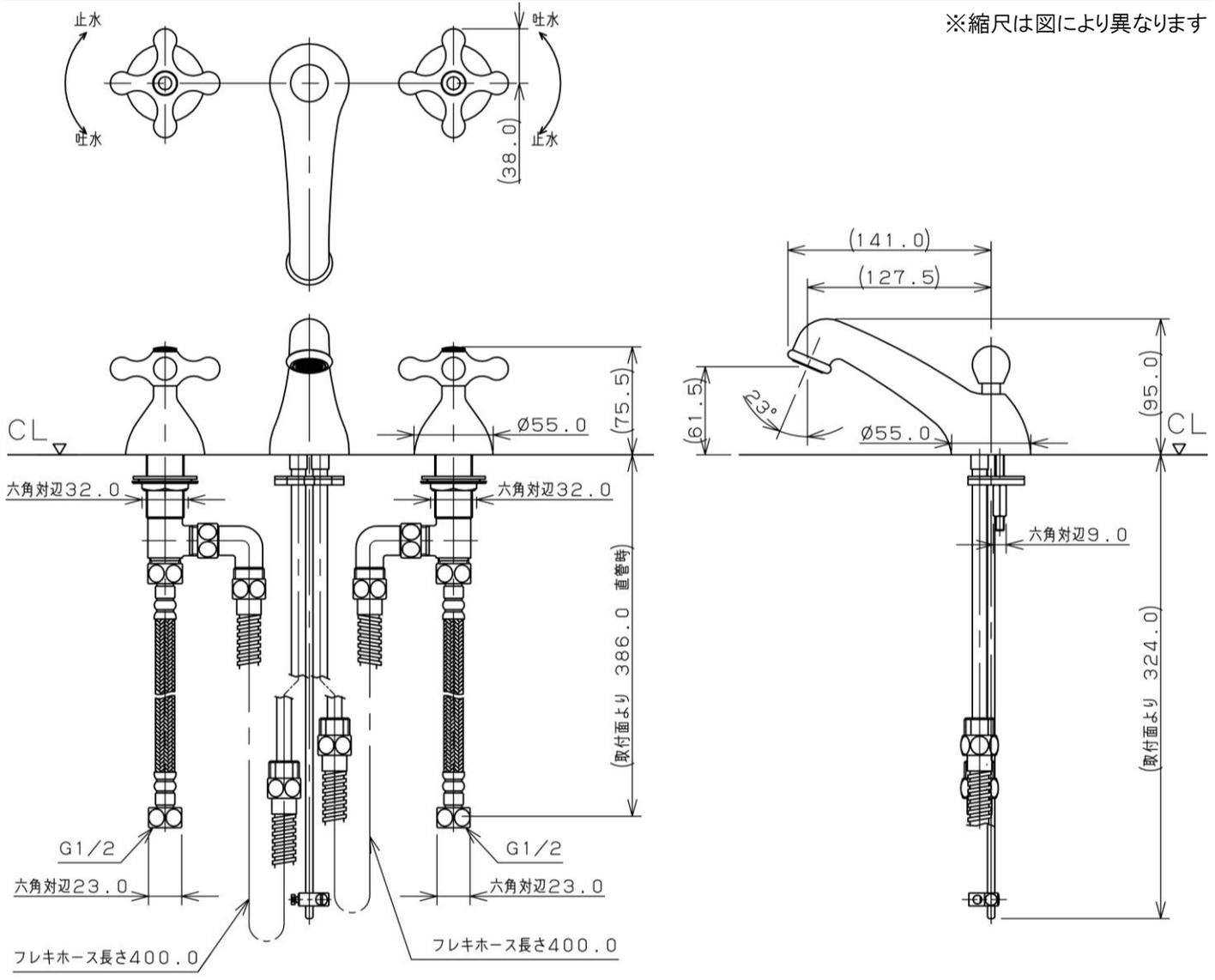


※縮尺は図により異なります

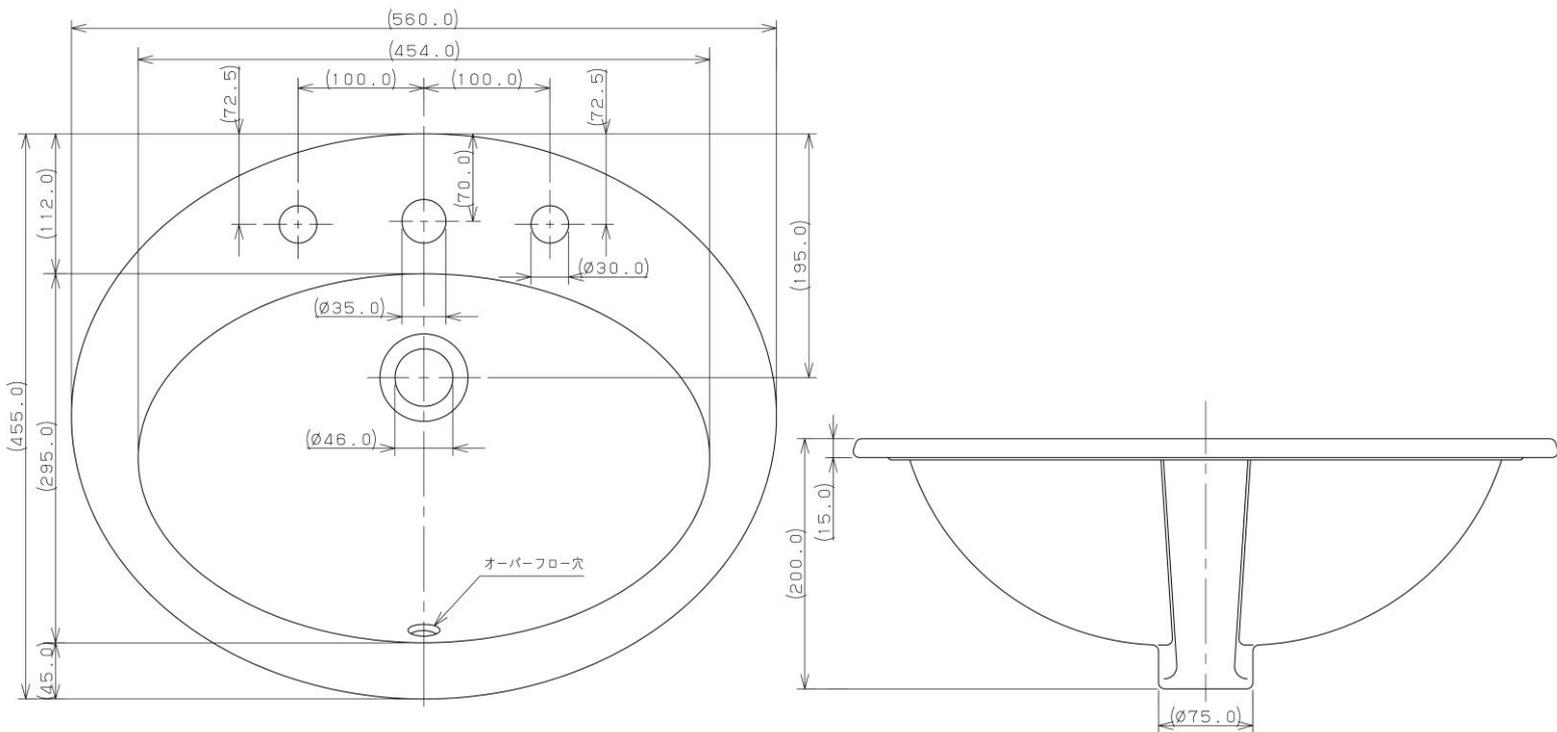


洗面化粧台 クロスハンドル混合栓

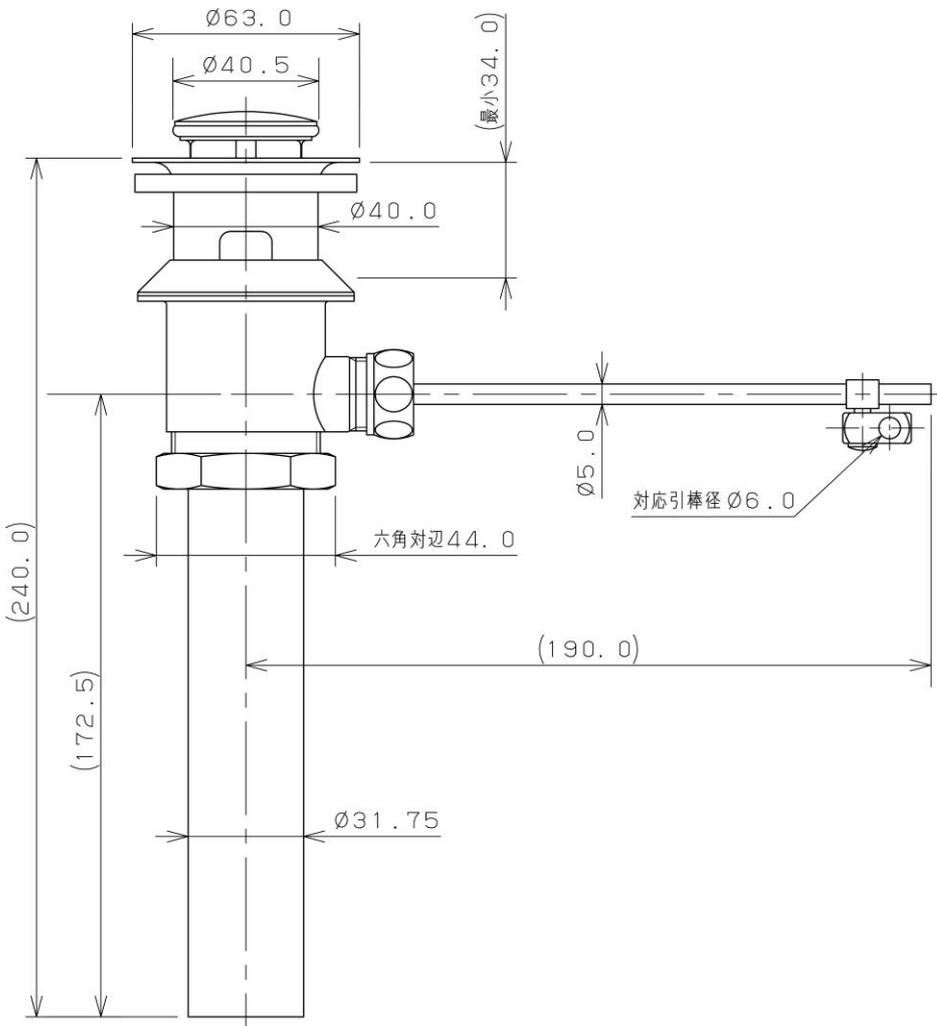
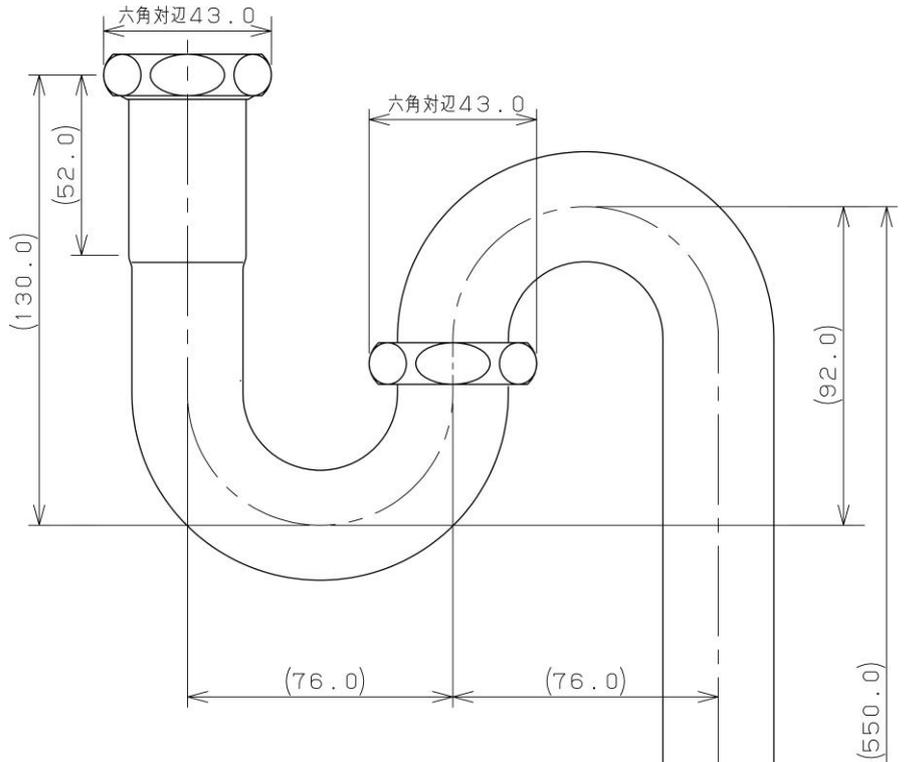
※縮尺は図により異なります



洗面化粧台 陶器洗面ボウル



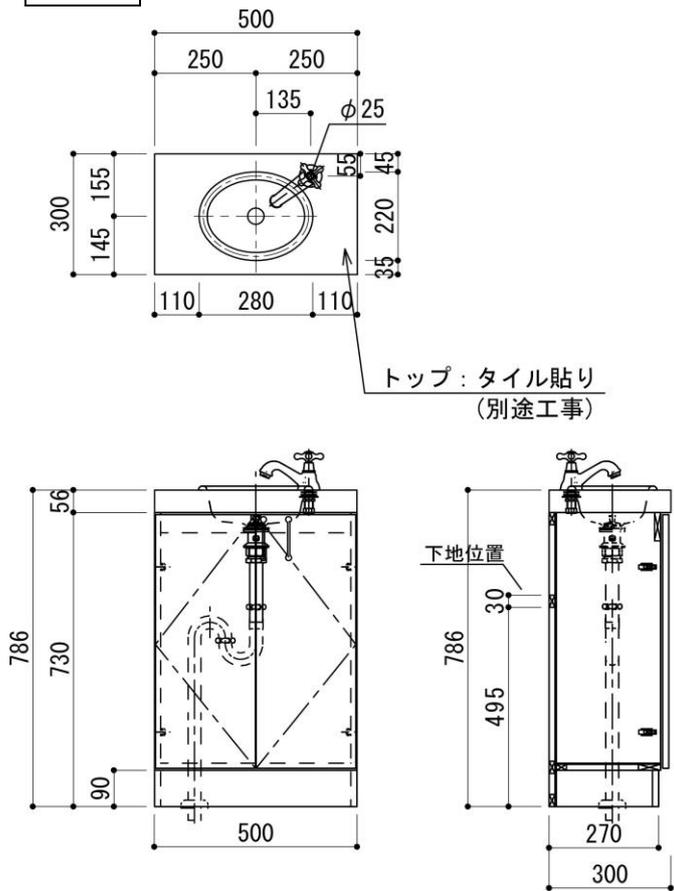
洗面化粧台 Sトラップユニット



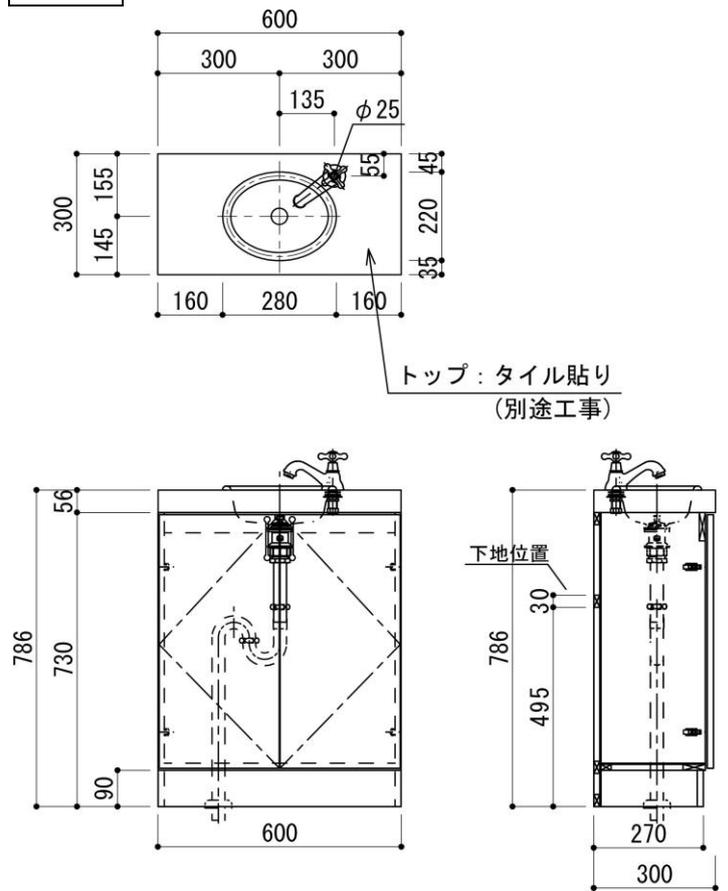
※縮尺は図により異なります

Amande -アマンド- (手洗い器)

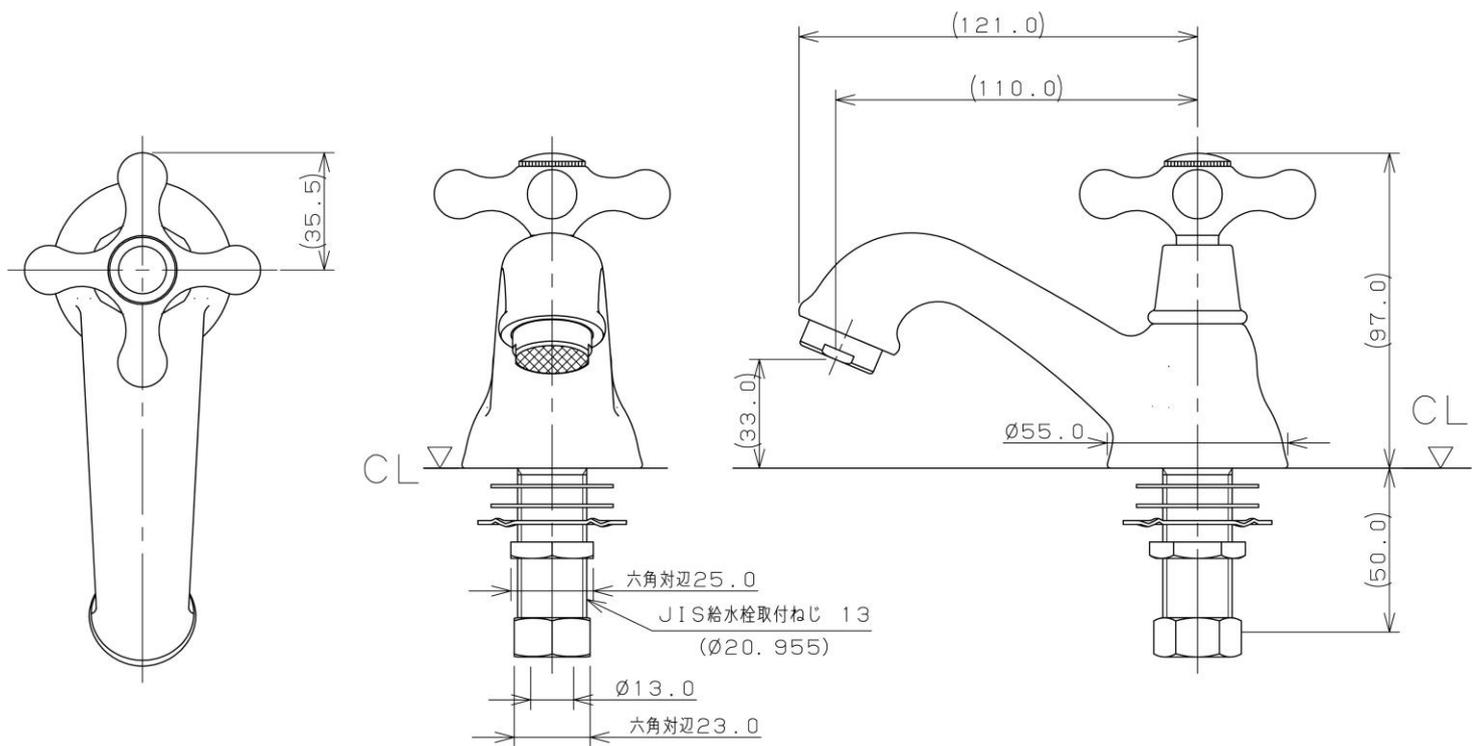
W500



W600



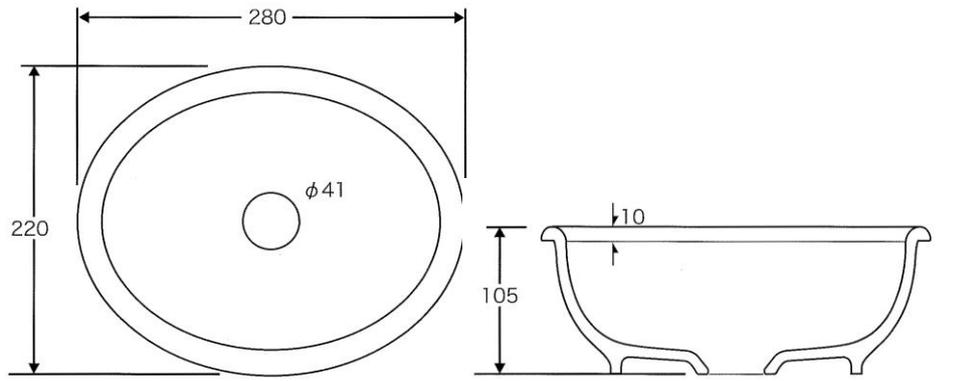
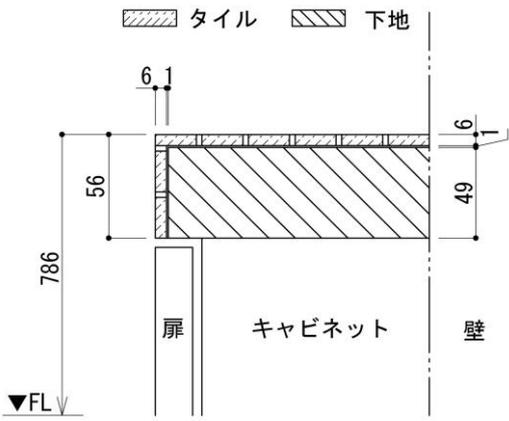
手洗い器 立水栓



※縮尺は図により異なります

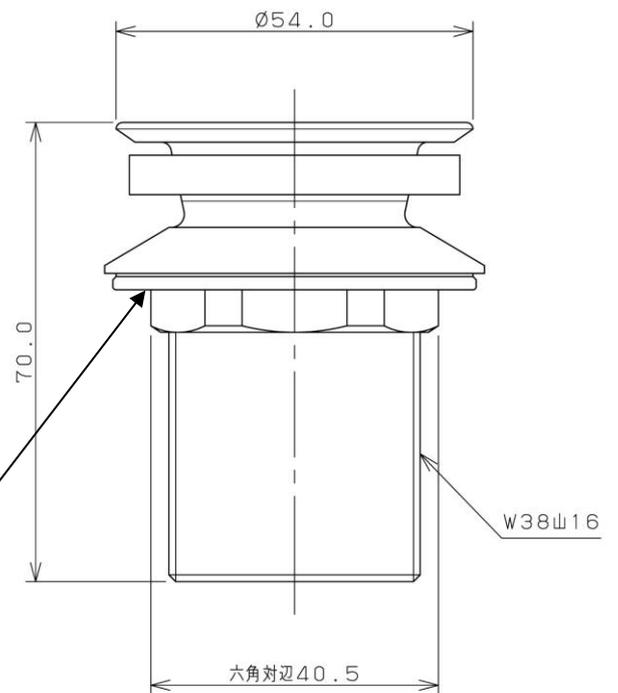
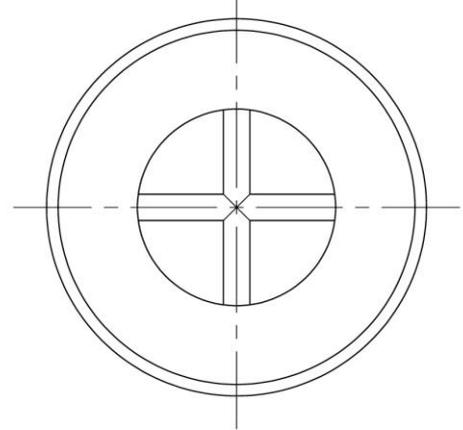
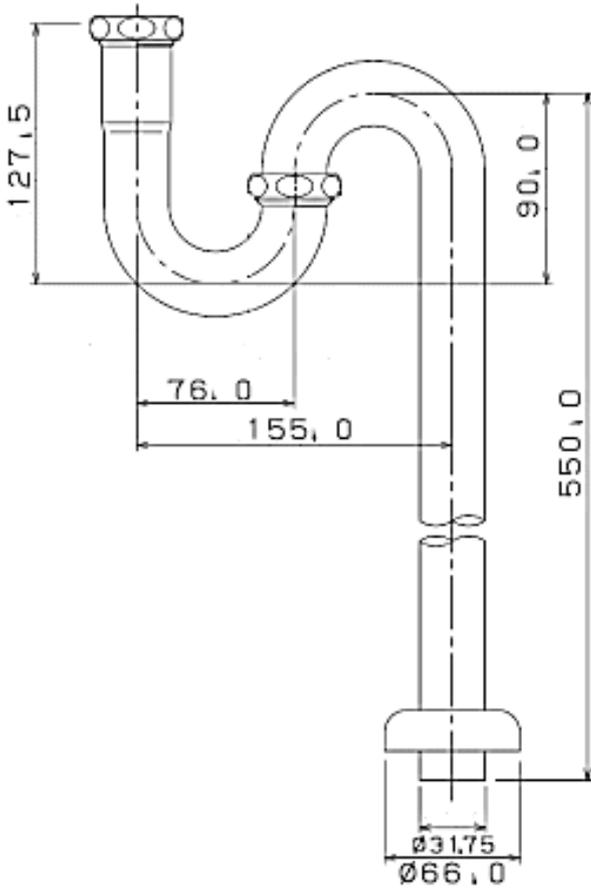
[手洗い器]タイル納まり図

手洗い器 丸型ボウル



手洗い器 ストラップユニット

手洗い器 排水金具(直流タイプ)



※この箇所には必ず防水処理を施してから接合してください。  
(推奨品:ヘルメシール・シールテープ・シリコン)

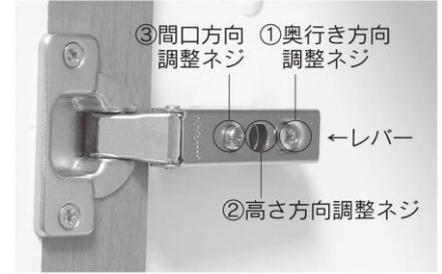
※縮尺は図により異なります

## ④扉の建付け調整方法

### ●扉の調整方法(クリップヒンジ)【図①】

1. 扉の取り外し、取り付け方法レバーに指をかけた手前に引きおこすとはずれません。取り外す際は扉が落下しないようしっかり持って外してください。取付ける際は手前からかけて、レバー部分を座金に押し込んでください。完全に取付けられると「カチッ」と音がします。

【図①】



### 2. 扉の建付け調整方法

- a. 奥行方向の扉の浮きがある場合は**奥行方向調整ネジ①**をゆるめてスライドさせ、しっかりネジを締め付けてください。(出た分だけ対角線の角が引っ込みます)
- b. 上下方向のズレが大きい場合は**高さ方向調整ネジ②**を上下の蝶番(扉1枚分)ともゆるめてスライドさせてください。

終わりましたらしっかりネジを締め付けてください。最後に**間口方向調整ネジ③**にて微調整をしてください。

3. 調整後も木材の伸縮等で建付けのズレが生じますので、その都度、調整してください。

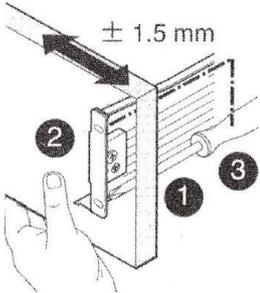
### ●引き出し扉の調整方法(スチール製引き出し)【図②】

1. 引き出しを外してください。(引き出しの外し方参照)
2. サイドカバーをひき外してください。
3. 間口方向調整。
4. 高さ方向調整。※ネジを外してしまわないよう注意してください。
5. 傾き調整。(ギャラリーパイプ仕様扉のみ)

【図②】

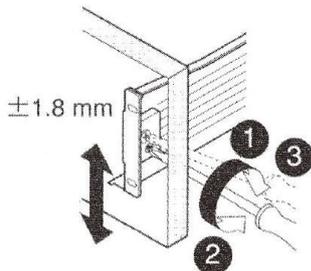


### 3.間口方向調整ネジ



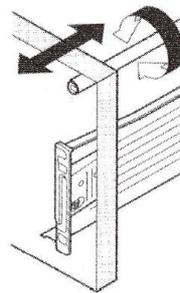
- ①.間口方向調整ネジをゆるめる
- ②.前板を調整する
- ③.間口方向調整ネジを締める

### 4.高さ方向調整ネジ



- ①.ネジをゆるめる
- ②.高さ方向調整ネジをゆるめる
- ③.ネジを締める

### 5.前板傾き調整ネジ



ギャラリーパイプを回して調整する(左右共)

### ●引き出しの外し方(スチール製引き出し)【図③】

- ①引き出しを止まるまで引き出します。
- ②引き出しを上を持ち上げながら引いてください。

【図③】



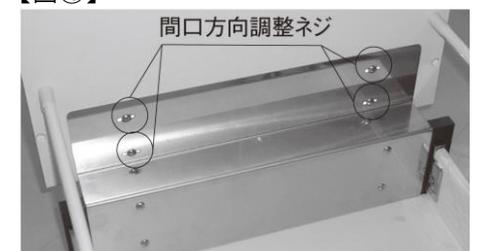
### ●引き出しの調整方法(台輪引き出し)【図④】

#### ①間口方向調整

1. 間口方向調整ネジをゆるめます。(4カ所)
2. 扉を調整しネジを締めます。

※高さ方向、傾き方向の調整はスチール製引き出しと同じです。

【図④】



### ●引き出しの外し方(台輪引き出し)

※スチール製引き出しと同じです。

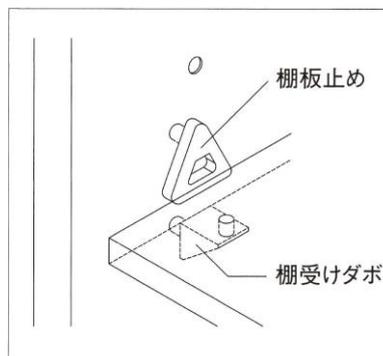
## ⑤棚板の取り付け方法(観音開きタイプを選択の場合)

### 使用上のご注意

- キャビネットの取り付け穴に棚受ダボを根元迄しっかり入れてください。  
棚板をしっかりと棚受ダボに載せてください。収納物や棚板が落下する危険があります。

### ご使用方法

- 棚板の取り付け方法(棚板止め併用棚受ダボ)
  - ①棚受ダボを取り付け穴にしっかり入れてください。
  - ②棚板を載せて棚受ダボのピンが棚受裏側の固定穴にしっかり入っているのを確認してください。
  - ③棚板止めを取り付け穴にしっかり入れてください。  
(棚板のはね上げ防止のため)
- 棚板の取り外し方法(棚板止め併用棚受ダボ)  
取り付け方法と逆の手順で取り外してください。





vol. 1 2015年9月